

生物学的同等性試験

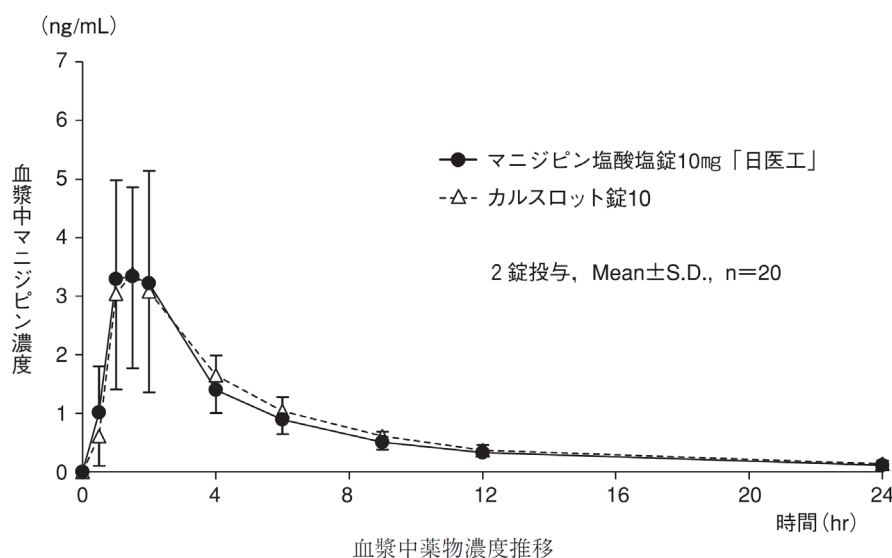
マニジピン塩酸塩錠 10mg 「日医工」

マニジピン塩酸塩錠 10mg 「日医工」 及びカルスロット錠 10 を、クロスオーバー法によりそれぞれ 2 錠（マニジピン塩酸塩として 20mg）健康成人男子に絶食単回経口投与して血漿中マニジピン濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC, C_{max}）について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、log (0.8) ~ log (1.25) の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。（注意：本剤の承認用法は食後投与である。）

薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC ₀₋₂₄ (ng・hr/mL)	C _{max} (ng/mL)	T _{max} (hr)	t _{1/2} (hr)
マニジピン塩酸塩錠 10mg 「日医工」	17.56±6.94	4.09±1.89	1.35±0.40	7.13±2.27
カルスロット錠 10	18.66±5.88	4.09±1.63	1.55±0.71	7.08±2.09

(2 錠投与, Mean±S.D., n=20)



血漿中濃度並びに AUC, C_{max} 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。